【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【公表番号】特表2018-506657(P2018-506657A)
【公表日】平成30年3月8日(2018.3.8)
【年通号数】公開・登録公報2018-009
【出願番号】特願2017-542144(P2017-542144)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｍ　15/263　　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/67　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｍ　15/263
Ｃ０８Ｇ　18/67　　０１０

【手続補正書】
【提出日】平成31年2月4日(2019.2.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
繊維基材を処理する方法であって、
前記方法は、フッ素非含有処理組成物を、前記繊維基材を撥水性とするのに十分な量で適用することを含み、
前記処理組成物は、少なくとも１種のイソシアネートから誘導された基と、少なくとも１６個の炭素原子を有する少なくとも１種の炭化水素基と、を含む少なくとも１種の（メタ）アクリレートモノマーの重合から誘導された、１種以上のポリマー化合物を含む、方法。
【請求項２】
前記１種以上のポリマー化合物が、少なくとも１種のイソシアネートから誘導された基と、１６～６０個の炭素原子を有する少なくとも１種の炭化水素基と、を含む少なくとも１種の（メタ）アクリレートモノマーの重合から得られる、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記１種以上のポリマー化合物の少なくとも７０重量％が、少なくとも１種のイソシアネートから誘導された基と、１６～６０個の炭素原子を有する少なくとも１種の炭化水素基と、を含む（メタ）アクリレートモノマーの重合から得られる、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記処理組成物が、以下の式：
$R^1-NH-C(O)O-L^1-OC(O)C(R^2)=CH_2$　（式Ｉ）、
$R^3-X^1-C(O)NH-L^2-OC(O)C(R^4)=CH_2$　（式ＩＩ）、及び
$R^5-X^2-C(O)NH-Q-NHC(O)O-L^3-OC(O)C(R^6)=CH_2$　（式ＩＩＩ）
［式中、R^1、R^3及びR^5は、独立して、少なくとも１６個の炭素原子を有する炭化水素基であり、
R^2、R^4及びR^6は、独立して、Ｈ又はCH_3であり、
L^1、L^2及びL^3は、独立して、２～１０個の炭素原子を有する分枝状若しくは直鎖

状アルキレン基、アリーレン基又はこれらの組み合わせであり、
Ｘ^{1}及びＸ^{2}は、独立して、Ｏ、Ｓ、－ＮＨ又は－Ｎ（Ｒ^7）（式中、Ｒ^{7}は、１～２０個の炭素原子を有する炭化水素基である。）であり、かつ
Ｑは、イソシアネート残基である。］のうちの少なくとも１種を有する少なくとも１種の（メタ）アクリレートモノマーの重合から誘導された、１種以上のポリマー化合物を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記（メタ）アクリレートモノマー中に存在する前記イソシアネートから誘導された基が、ウレタン基又は尿素基である、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記１種以上のポリマー化合物が、少なくとも１種のイソシアネートから誘導された基と、１６～６０個の炭素原子を有する少なくとも１種の炭化水素基と、を含む少なくとも１種の（メタ）アクリレートモノマーの、平均して少なくとも１０個の繰り返し単位を有する、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記１種以上のポリマー化合物を製造するための反応混合物が、耐久性を高める（メタ）アクリレートを更に含む、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
前記組成物が、界面活性剤、凝集溶剤、凍結防止溶媒、乳化剤、又は１種以上の微生物に対する安定剤から選択される１種以上の添加剤を任意に含む水性分散液である、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記繊維基材が、織物、革、カーペット、紙及び不織布の群から選択される、請求項１に記載の方法。
【請求項１０】
請求項１に記載の方法によって処理された、繊維基材。